

広報

ふじ

59.4.25

No.386

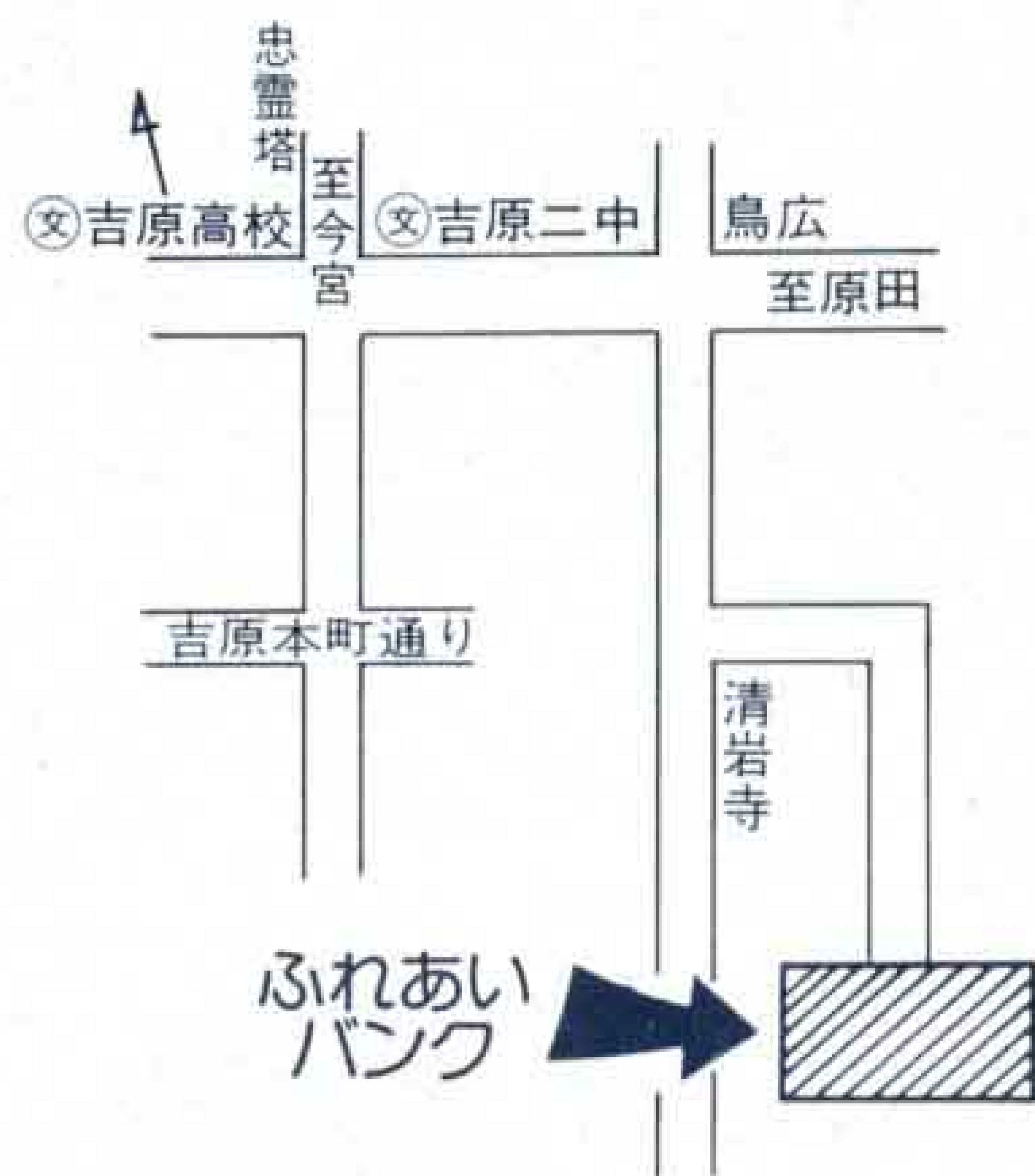


バランスが大切ヨ…

神戸小学校では、昨年から体育の授業に一輪車を採用。ケガをする児童が多いが…と、始めたこの一輪車は、平衡感覚、バランスなどを培うには最適で、子供たちの人気の的となっている。



▲きょうは自転車をみがいて整備しています きれいになりますよ



ふれあいバンク
電話51-3080



▲古本もいっぱいあります

障害者施設のふれあいバンク 古本や家具などを再生して販売

仕事を通して障害者の社会参加を実現していきたいという願いから、小規模授産施設「市民ふれあいバンク」が、宇東川西町旧吉原老人ホームに昨年7月オープンしました。

ことしの4月15日には新作業棟の落成式を行い、市民のみなさんの協力を得ながら障害者が毎日、古本や家具などを再生して販売する作業に励んでいます。

自立する授産施設を

軽度の障害者は、民間企業に就職して働いています。また重度の障害者は、くすの木学園などの大規模授産施設で生活、職業訓練を受けています。

その中間にいる障害者に仕事を通して社会参加をさせてあげたいという願いから小規模授産施設「市民ふれあいバンク」が生まれました。

施設の誕生までには、市内の現存小規模授産施設と異なり、事業所から発注される軽作業を行うのではなく、自立する授産施設を作りたいという考えから、そのモデルになったのが盛岡市の「市民福祉バンク」で

した。

幅広い福祉をとという観念から障害者の個性や能力を生かせるものは何かを検討し、不用品のリサイクル運動と結びつけることになりました。

バンクの経営には みなさんの援護が

これからはお金を出す福祉から心を出す福祉を実現していきたい。ふれあいバンクも市民のみなさんが、援護してくれないと経営がなりたちません。自分の家庭では使用しなくなったが、少し手をかければまだ十分使用できる物があつたらぜひ提供してください。

また、こんな物がほしいなと思っている人がいましたら一度ふれあいバンクを訪ねてきてください。

200円くらいの衣類から5,000円くらいのベッドなどたくさんあります。いままでにも一度買いにきてくれた人が次のときには、作業を手伝ったり、話し相手になったり少しの時間ですが、一緒に過ごすなどふれあいが広がっています。

作業内容は

現在、障害者が6人、バスや自転車、徒歩で通っています。

月曜日から金曜日までは、午前9時から午後3時30分まで、土曜日は午前中作業をしています。

5月からは毎月第1日曜日も開所して、市民のみなさんに親しまれる

バンクにしていきます。

作業内容は、個人から提供されたタンス、机、家庭電化製品、衣類などや市婦人会による一会員一冊提供運動による古本まで、いろいろの品物を整理して販売しています。

障害者は、日当500円の賃金を得て仲よく、明るく働いています



▲4月15日完成した新作業棟

これからは

新作業棟が完成し、定員が10人になりましたので働く障害者をふやしていきます。指導補助員も増員しま

す。
ふれあいバンクを全市的に考えた場合には、富士、鷹岡、方面にも出張所みたいなものを考え、より充実していきます。空いている建物や土地を無償又は格安に貸していただけるようでしたらご連絡ください。

バザーについても各公民館で行う地区の文化祭や公共的施設（農協、銀行など）の駐車場をお借りして開くことを検討しています。

また、高齢者事業団「シルバー人材センター」の作業場が隣にできますので、修理作業などをタイアップして行っています。

これが実現すると全国的に例をみないものになります。

小規模授産施設とは

市内には大規模授産施設として、市立くすの木学園、県立富士見学園、社会福祉法人和光学園の三園があり、いずれも精神薄弱者が、就職するための生活訓練を受ける更正施設です。

しかし、競走万能社会の時代にある程度の生産性を求める民間企

業に就職し社会参加というケースはごく一部です。

そこで小規模授産施設の存在が重要になってきます。

大規模授産施設で生活、職業訓練を受けて就職して失敗した人や、民間企業への就職は少し無理という人を受け入れて、生産性にあまりこだわらずに作業を進め日当を支払っていくという施設です。



加藤邦利さん (62歳)

市民ふれあいバンク指導員

明るく作業しています

昨年8月に開所してから、買いに来てくれた人が400人ぐらい。品物は、団体や個人の多くの人が協力して提供してくれるので、置き場所も

狭いくらいたくさんいただき大変感謝しています。

開設当初は、この場所が交通の便が悪くどうかと思いましたが、それも年越し苦勞に終わりました。いまではほとんどの家庭で車を持っていますから全市内から来てくれます。

この施設はオープンにしていますので、近所の子どもたちが遊びに来たり、買物に来る人たちがいつもいます。作業をしている障害者は毎日健常者とふれあっているのです、みんな明るくなってきました。言葉少な

かった子もよく話すようになったし、あいさつもするようになりました。

指導員としては、作業訓練する中で、障害者個人々々ができることを見い出してやり、社会に復帰できる人は社会へ送り出してやりたいと考えています。

そのためには、忍耐力をつけなければと考え、作業の前にはラジオ体操をし、掃除もやり、体力をつけるようにしています。みんなが仲よく、明るく作業ができるよう根気よく指導していきます。

まちの歴史家グループ

富士文化財愛好会



▲鷹岡地区を調査中の会員たち

市民の手による文化財の調査や保護、そして、守る意識を高めることを目指して、富士文化財愛好会（渡辺脩会長）が発足しました。

ことし1月発足したばかりでまだ日は浅いですが、すでに、鷹岡地区の石造物を調査したりして、活動をはじめています。

市民みずからの手で遠い祖先の文化財などを知り、守っていく文化財愛好会を紹介します。



石造物とは

石造物とは、郷土の先人たちが、素朴な信仰や、道しるべとして、大切に祀られ、保存されてきた路傍に建てられた石物です。

馬頭観音、道祖神、地蔵、甲子神、庚申塔、題目塔、燈籠、水神、記念碑、道しるべなどがあります。

入会をお待ちしています

市教育委員会は、昨年度の市民歴史講座の修了生を対象に、文化財実習講座を6回行いました。

その中で鷹岡地区の調査と研究をするうちに、文化財の大切さを覚えると同時に、市内全域の調査研究の必要性にかられました。

このことが会を発足させるきっかけになり、今年の1月29日に結成しました。

現在会員は34人です。文化財などに興味を持ち活動してみたい人の入会をお待ちしています。

詳細は事務局（鷹岡本町1丁目、渡辺脩会長宅☎71-3058）へ

鷹岡の石造物を調査

愛好会の事業は、2月5日の仁藤春耕の道しるべの拓本とりが最初

でした。

その後、会員による市内文化財めぐり、鷹岡地区の石造物調査と集計など意欲的に活動を続けています。

会では、長い年月にわたり先人の残してくれた、市内に点在している路傍の石造物を種類別に、調査研究することによって、その地域の歴史と文化を知ることができると考えています。

調査結果は小冊子にまとめあげ、市民のみなさんが文化財に関心を持ち、長く保存愛護し、大切にすることを育てる役に立ちたいと会員はがんばっています。

調査にご協力を

鷹岡地区の石造物調査を行いました。道路舗装、拡張工事などで位置が移動したり、紛失していました。

こうして年々、先人の生活史を物語る貴重な文化財が、ちりちりになり減っていくのを目のあたりにして、調査の必要性和将来に保存、伝えていかなければと、強く感じました。

この経験をもとにこれからは、富士地区、そして吉原地区と全市にわたり、石造物をできるだけ詳しく探し出し、それらの歴史的生き立ちを知り、次代に伝えていきます。

愛好会の人たちが、みなさんの地区に黄色い腕章をつけて調査に行きます。

土地にふなれな人がほとんどです。何かとご迷惑をおかけすることと思いますが、かくれた石造物とか、あなたの地区に伝わっている物語、言い伝えなどをお教えてください。

よりよい調査をしていきたいと思っておりますのでご協力をお願いします。

1、富士山のように 高く 教養を深め 視野のひろい市民となります

五月十日～十六日

愛鳥週間 はじまる

▶親子で富士川河口探鳥会をしました
マガモ、コガモ、アオサギなどを見て参加者は感激



山や畑、河原などでウグイスやシジュウカラ、ヒバリなどのさえずりが聞かれる季節になりました。

鳥を愛するということは、まず鳥を知ることから始まります。

野や山に出て野鳥とふれあう機会をつくりましょう。

野鳥を庭に呼ぼう

広い庭や大きな木がなくても、ビルのベランダや屋上、物干し場にも

野鳥はやってきます。もちろん招くからにはそれなりの心遣いが必要ですが、ちょっとした工夫と愛情があれば、野鳥を呼ぶことができます。

◇野鳥のおちつける環境づくり

- (1)鳥が休める植え込みをつくる
- (2)ネコが隠れそうな物を取り除く

◇餌をきらさずに気長に待とう (冬の間だけ)

- (1)餌はバラエティーに富んだものを、砂糖水、パンくず、ラッカセイ、アワ、ヒエ、ヒマワリのタネなど

◇水だけでも鳥は来る

- (1)深さ3センチ位ぐらいの水場をつくろう

◇実のなる木を植えよう

富士市の野鳥写真展開催

市内で見られる代表的な野鳥の写真約50枚を展示します。

○とき 5月7日(月)～5月19日(土)

○ところ 市役所2階市民ギャラリー

野鳥に関する講演会

講話とスライドで野鳥について、わかりやすく解説します。

○とき 6月9日(土) 14:00～

○ところ 吉原市民会館第1会議室

○演題 野鳥とわたしたち

○講師 阿部英雄氏 (日本野鳥の会支部長、富士市域自然調査研究会々員)

野鳥に関する行事の問合せ先は、市みどりの課 ☎51-0123 内線332



桜の名所として知られる中比奈の忠霊びょう

桜の満開時には大勢の人がお花見に来る。最近は、マナーもよくなり桜の枝を折る人もいなくなつたネ……。

私の好きな富士 ③



ともいち
小笠原友一さん(67歳)
中比奈3丁目

1、富士山のように たくましく 働くよろこびをもち 健康な家庭をつくります



富士市少年
少女合唱団

10周年記念演奏会



◀きれいなハーモニーを披露

富士市少年少女合唱団(代表 辻村典枝さん)が結成10周年を迎え4月8日、吉原市民会館で記念演奏会を開きました。

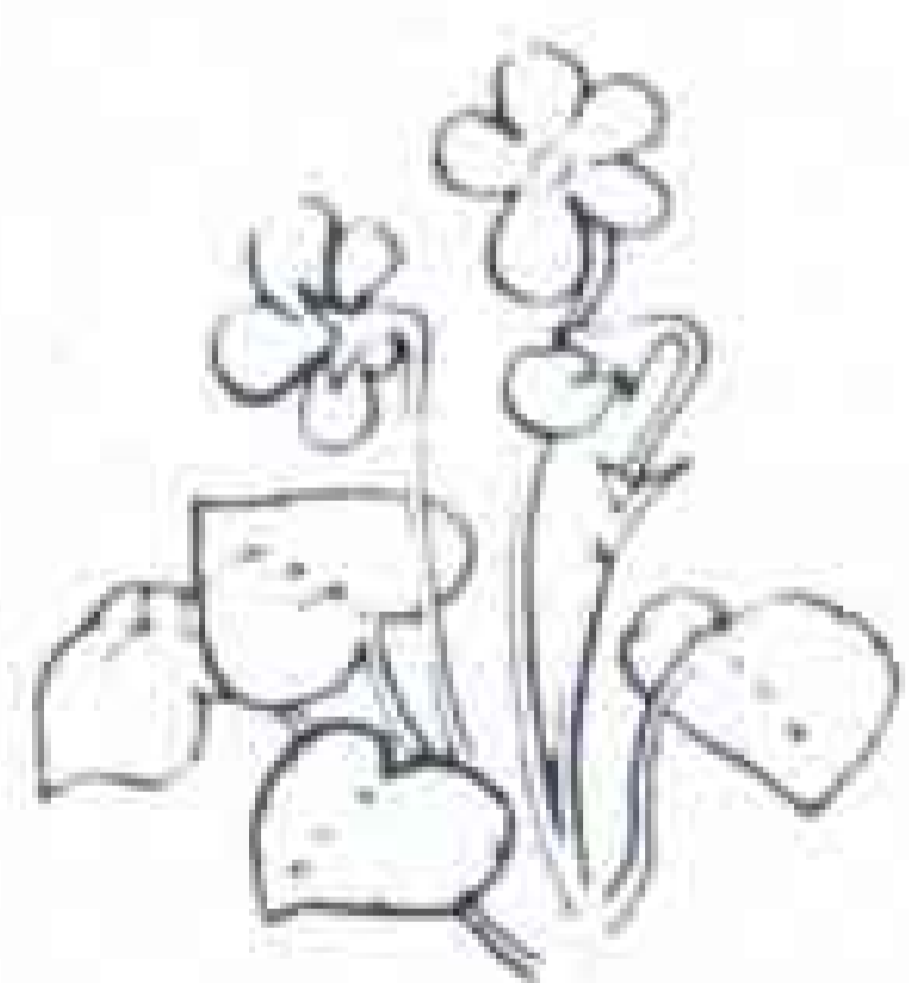
少年少女合唱団は、昭和49年に誕生。小学生から高校生までの、合唱好きの子供ならだれでも団員になれる市内では唯一の少年少女合唱団です。この日は、得意の組曲「チコタン」などの合唱を披露。

応援にかけつけた芸大生7人と共演の場面もありました。

▶芸大生も応援出演



▲得意の組曲「チコタン」を合唱



緑と花の
百科展

家族連れでショッピング



◀うっん、どの花がいいかな

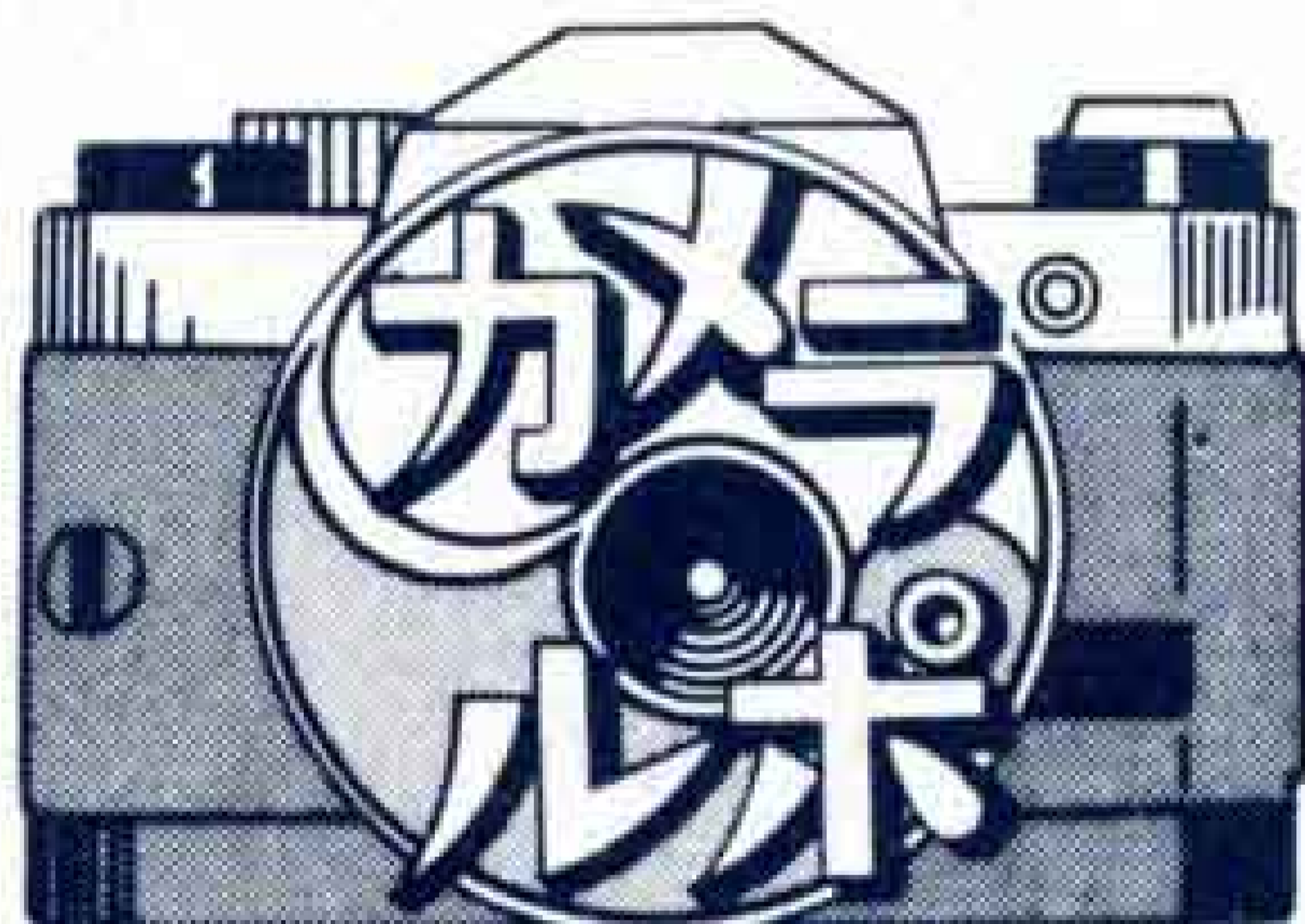
街中を緑と花でかざろうと四月八日、市役所北側駐車場で、第二十五回「緑と花の百科展」が開かれました。
春の日ざしをうけながら、三万人の市民が思い思いの花や苗木を選んでいました。



△好記録を目指していっせいにスタート

いい汗かいて 気分そう快

＝ 第11回 田子の浦マラソン ＝



絶好のスポーツ日和びよりに恵まれた4月15日、第11回田子の浦マラソン大会が、柏原海岸マラソンコースで行われました。全国各地から集まった1,200人の参加者は、駿河湾の潮風をいっぱい**に**浴びながら各自マイペースで走り、健康マラソンを楽しんでいました。



△お母さんもがんばっています



△未来の瀬古選手も飛び入り参加



△外人さんも参加



暮らしのたより



富士市民大学歴史講座受講生を募集

「明治の群像－郷土の先覚者」を学習主題として、専門的知識や技術の修得をはかる「富士市民大学歴史講座」の受講生を募集します。

○とき 5月30日～7月29日まで
毎回18:30～20:30まで(特別学習は別)

○ところ 吉原市民会館第1会議室

○対象 20歳以上の市内在住者

○受講料 2,000円(特別学習の経費は自己負担)

○募集人員 200人(定員になりしだい締め切り)

○申込み先、期間
5月21日(月)～23日(水)までに、市文化体育課へ受講料を添えて申込んでください。

学習計画

回	期日	学習課題	講師
1	5月30日(水)	明治維新「富国強兵と殖産興業」	静大教育学部 教授 若林淳之氏
2	6月6日(水)	明治維新「文明開化と自由民権」	静大教育学部 教授 若林淳之氏
3	6月13日(水)	明治の群像「製茶と野村一郎」	駿河郷土史研究会 会長 鈴木富男氏
4	6月20日(水)	明治の群像「沼川石水門と伊達文三」	駿河郷土史研究会 会長 鈴木富男氏
5	6月25日(月)	明治の群像「教育の近代化 生駒藤之・深井譲」	国土館大学文学部 助教授 四方一彌氏
6	7月4日(水)	明治の群像「製紙業への情熱 芦川万次郎～富士製紙第一工場まで」I	静大教育学部 助教授 塩川 亮氏
7	7月11日(水)	明治の群像「製紙業への情熱 芦川万次郎～富士製紙第一工場まで」II	静大教育学部 助教授 塩川 亮氏
8	7月18日(水)	明治のかおり「明治歴史散歩」(スライド構成)	駿河郷土史研究会 副会長 奈木盛雄氏
9	7月25日(水)	特講「秦始皇兵馬備について」	京都市埋蔵文化財研究所 調査部長 田辺昭三氏
10	7月29日(日)	特別学習会「市内文化財めぐり－明治の文化と風土」	駿河郷土史研究会 副会長 奈木盛雄氏



市の文化財を紹介した冊子をおわけします

市の歴史、風土を知るうえで欠くことのできない文化財を収録した冊子「富士市の文化財」ができました。購入希望の方は、市役所7階の文化体育課又は、市立博物館でお求めください。1冊400円です。

レクリエーション指導者講習会を開催



市教育委員会は、地域や職場で活躍するレクリエーションリーダーの指導者講習会を開催します。

○とき 5月17日(木)～6月14日(木)
19:00～21:00毎週木曜日(計5回)

○ところ 市立体育館
○対象者 16歳以上の市内在住、在勤の人

○定員 50人
○受講料 無料(但し、ゲーム集、ソング集など個人に係る教材費は実費負担)

○申込み 問合わせ先 5月16日(水)までに市教育委員会文化体育課へ 内線457



昭和59年工業統計調査

ポスター募集

通商産業省は、製造事業所が工業統計調査に対する理解を深め、その協力が得られる内容のポスターを広く一般から募集します。

○募集期間 5月10日～6月30日
(当日消印有効)

○規格・縦59cm横42cm(日本標準規格A2判)で縦長に使用。
○色は4色以内(白色は除く)
○図案に入れる文字「通商産

業省」「工業統計調査」「昭和59年12月31日」

○写真は使用しない
○ポスターの裏面に住所、氏名、職業(学生は学校名)を必ず明記。

○応募先等詳しくは、通商産業省工業統計課☎03-501-1511(内線2392)又は県統計課☎0542-21-2240へ



暮らしのたより



ぼくけんちゃんです!

4ヵ月目

ようやく暖かくなってきたネ。最近、よく外へ出してもらうんだ。初めて目にするものばかりで、とても驚いちゃう…。

離乳食をスプーンで食べられるようになったし、オモチャも持てるヨ。体重がちよつとオーバー気味なので、お母さん心配してる—。



離乳食はスプーンで

市の統計が 一目でわかります

昭和58年版「富士市の統計」を有料でおわけしています。

統計書は、たて24.5cm、よこ25.5cm、74ページで富士市の人口、財政、産業経済、農業、建設などあらゆる統計を載せてあります。

購入希望の人は、市役所8階の広報広聴課でお求めください。

1冊400円です。

ミルクなどを無料支給

市は、次の人にミルクまたは牛乳を無料で支給します。

◇対象者

(1)生活保護を受けている世帯、市民税非課税世帯、所得税非課税世帯の人

◇支給期間

(1)妊娠5ヵ月から出産後3ヵ月まで
(2)乳児は生後4ヵ月から12ヵ月まで

◇申込み、問い合わせ先

対象者は、印鑑を持って市健康課(☎51-0123内線316)へ申請してください。

広報映画

「富士をあおぐまち」 のご利用を

市は、富士市を紹介した16ミリ映画フィルムを無料でお貸ししています。

この映画は、四季折々の美しい自然を背景に、或いは施設を舞台に、生き生きと活動する市民の姿を描きながら「現在のまち」や「これからのまちづくり」を浮き彫りにして、21世紀へ向かって力強くはばたいている富士市を紹介しています。

◆ご利用方法

(1)貸出しできる対象者

市内の学校、団体(町内会、各種

グループ等)事業所が利用するとき。

(2)貸出し期間

貸出した日から3日間以内

(3)申込み、問い合わせ先

市広報広聴課 ☎51-0123内線528

シルバー技能

訓練生を募集

富士高等職業訓練校は、高齢者の技能と知識を生かした生きがい対策をすすめ、社会参加の意欲と高揚をはかるため、60歳以上の方を対象にシルバー技能訓練生を募集します。

◇コース 庭園サービス

◇とき 5月14日(月)から10日間

土、日曜日を除く毎日

13:00~16:00

◇内容 簡単な庭木の手入れの基本実習など

◇定員 10人

◇受講料 無料

◇申込み、問い合わせ先 〒416市内横割1丁目9-8 県立富士高等職業訓練校 ☎61-2255

佐野美術館名品展

佐野美術館(三島市中田町1-43)では、日本、中国などの古美術品約135点を展示した「佐野美術館名品展」を開催します。

○とき 4月27日(金)~6月10日(日)

○入場料 大人500円、団体400円
高・大生300円、団体240円
小・中生200円、団体160円

※団体は15人以上

いっせいで防疫

月日	午前	午後
5月10日(木)	鈴川町一 鈴川町二 鈴川町三	鈴川町四 鈴川町五
11日(金)	鈴川浜町東通 鈴川浜町中通 鈴川浜町西通	今井東町 今井毘沙門町
14日(月)	今井本町	大野町
15日(火)	柏原町一 柏原町二 柏原町三	桧町 田中町 西田中町
17日(木)	浮島町一 浮島町二	江尾町一 江尾町二
18日(金)	浮島町三	増川町一 増川町二 増川町三
21日(月)	神谷町一 神谷町二	神谷町三 神谷緑町 中里新富町



冷たい冬も終わり、ようやく春めいてきたこのごろです。鉄棒とタイヤブランコで、なかよしのおともだちといっしょに、遊んでいるところを書いてくれた、今泉幼稚園の園児の作品を紹介します。



わたなべまさゆき



かみおあゆみ



なおき君といっしょに、前まわりをやったよ。さか上がりもできるんだ。



わたしとゆきちゃんと妹。立ってこぐと、かぜがあたってきもちがいいよ。

学校自慢

田子浦中学校



伝統の色別活動



三年生
加藤武男君

田子中の壁は、いつも美しく真白です。気持ちまで明るくなり勉強への意欲も起きてきます。それは、生徒会が中心となって、校内美化を進めているからです。1円玉募金で資金をまかない、1年生から3年生まで一体となってペンキ塗りをするのです。自分たちの校舎を自分たちの手で美しくしようと始められ、今では伝統になっています。普段の清掃にも力を入れ色別活動で行っています。色別活動とは、各クラスを6色に分け、1年生から3年生までの同じ色同志縦のつながりを使い、清掃、リレー会、合唱コンクール、運動会、マラソン大会等の行事を行うものです。先輩と後輩が接する機会が多く、1年から3年まで協力し合い、知らず知らずのうちに田子中の伝統が、しっかり身についてきます。

薬草のおはなし⑮

薬草名 ヨモギ
生薬名 艾葉
薬効 ゼンソク、健胃、貧血、腰痛、腹痛、痔



モチグサの名で一般になじみが深い。6～7月ごろ葉を採取して日干しにするが、根の採取はいつでもよい。水洗いした新鮮な根300gを1.8ℓの清酒に漬けて、半年以上熟成してこし、ヨモギ酒にする。1回20cc、1日3回に服用するとゼンソクに、日干しにした葉(艾葉)を5～8g 1日量として煎服すると、健胃、貧血に、また艾葉300gか、生薬600gを布袋に入れ、水のうちからふろに入れて沸かして入浴すると腰痛、腹痛、痔の痛みには効果がある。